



# 山田ひとき

平群町議会議員 ◆ 後援会会報

発行/山田ひとき後援会  
 広報部  
 平成28年8月15日発行  
 〒636-0916  
 奈良県生駒郡平群町若井407-2  
 TEL0745-45-4845 FAX0745-45-4727  
 メールアドレス hitoki@m4.kcn.ne.jp



山田ひときの略歴  
 文化団体“やまと四季探訪”主宰

- ◇昭和36年4月16日平群町に生まれる
- ◇平群西小卒業 ◇平群中学校卒業
- ◇県立高田高等学校卒業
- ◇摂南大学 建築学科卒業
- ◇一級建築士
- ◇スキューバダイビング資格取得
- 平群町議会議員
- 総務建設委員会 委員
- 下水道事業特別委員会 委員
- 駅周辺整備事業特別委員会 委員
- 財政検討委員会 委員
- 佐藤正久参院議員(ヒゲの隊長)  
 奈良県後援会平群支部長



## 皆様の声を原点に魅力ある町へ全力

こんにちは山田ひときです。本年5月10日の臨時議会に於きまして、議会議長の要職に就任させて頂く事になりました。議長に就任させて頂くのは平成24年度以来2度目となりますが、10年、20年先の町の将来を考えたとき、これからの平群町は他の自治体がない、特色・独自性を持つ町づくりを行うことも課題、目標であると考えます。

住民皆様の声を原点に、若い世代にとっても魅力のある町、住民が誇れる町となるよう粉骨砕身、力一杯取り組んでまいります。皆様方のご理解と、ご指導お力添えを賜りますようお願い申し上げます。しかし、不思議な事に岩崎町長は、私が議長になる結果よりも町長与党議員からの議長選出を望まれたようです。議案可決の為の賛否における町長与党議員の過半数を確保する事より、3月議会での予算審議結果のように否決されても良いという判断のもと、否決やむなし

という考え方なのででしょうか？私のこれまでの態度は元来否決する事が目的ではありません。自分の考え主張をしつかり述べる事で時には反対の意思を示し、行政、政策のチェック機能としての役割を果たし、まちづくりの一翼になう事が議員の使命責任を果たす事だと考え行動してきました。これまでも、予算に賛成、時には反

対もしてきました。従って、私が議長になる事によって、これまで、否決になるのが解りながら毎議会提案され、岩崎町長からは話し合いや協議の態度も示されなかった議員報酬20%カットの賛成議員数が、議場で過半数を占める事で可決される事も、理解した上で私やこれまで反対してきた議員と確認の上、議長選挙に望みました。

おられました。私が反対をした、様々な理由の中、大きな理由のひとつは予算提案では、4つの基本目標のもと『魅力のある町づくりのための施策を盛り込んでいく』、と述べられていますが、全く新しい施策が含まれておらず、耳触りのよい言葉で目先をごまかしているだけの予算内容でありました。固定資産税超過税率継続のため、のまちづくりの口先だけの子育て支援、定住促進だけでなく新しい政策を示し真剣に取り組むべきであるという政治姿勢を非難したものであります。

また、3月議会初日には、27年度補正予算で文化センター建設の基本計画策定業務として、議会に説明や報告もなく予算流用された470万円が計上されている事も明らかになりましたが、これは議会、住民に対し説明責任を果たしていない、議会軽視、住民無視という事に他ならない。そんな暴走を許すわけにはいかないという理由の一つとなりました。



平群町以外の各地方議会(奈良市・河合町・三宅町)でも3月議会でも初予算が否決、それが

それぞれの自治体によって再議等の後の対応や状況、事情は色々あると思われませんが、首長の政策、姿勢に対し厳しい対応を示し、警鐘を鳴らす意思表示の表れであり、旧態依然の与党議員が黙って首長に従うという時代が変わろうとしているのかもしれない。議会と行政の『馴れ

### 3月議会当初予算に反対

### 『まんべん通信』の批判記事にはうんざり

岩崎町長は自身の通信で、私のこれまでの言動について、その常々意思表示や説明をしている私の考え、意見を無視したうえ、結果だけを自分独自の解釈で批判されています。批判合戦はうんざりですが、岩崎町長の意図は、自分の意に沿わない議員、職員、住民は排除しようとする考えなのではないでしょうか。私の人格、考えも否定されています。そのうえ何故か意図的に共産党に同調・迎合しているように見えるような主張ばかりです。

自分の主張、構想は正義であると装い、それに抵抗、反対した意見を述べる私のような議員は悪であり、それを退治する事、戦う事が目的であり改革であるという事を生きがいに、自分は正義の味方を演じる事が本来の目的であるようにも感じてしまいます。

予算に反対し政策に苦言を述べる私や、森田議員等を誹謗中傷するピラを配布する首長が本当にオール平群でまちづくりをしようと真剣に考えられているのか不可思議でなりません。

あの誹謗中傷記事を掲載した『まんべん通信』を見た他町の議員の方もあきれておられました。

町長は選挙戦において公約、主義、主張、支持政党の違いによる相手候補やその支持者に対して敵対感情が生まれる事は仕方がない部分があったとしても、首長として当選就任した以上は全ての住民の代表となり、全ての住民への奉仕者であるべきであると思います。

反対意見を述べる議員を支持する住民もまた、平群町民であることが、どこか欠落しているように感じる言動は首長としての資質を疑いたくなってしまいます。



# 平成28年3月議会

## 一般質問 (要旨)

### 旧平群西小学校跡地の 利活用について

跡地利用については、26年12月議会で、役場本庁舎としての利用も提案しました。

しかし、町長からは、『西小跡に本庁舎を持っていく事は平群町全体の町民の利便性を考えるときに、適切でない』と判断をしている』との答弁でありました。

利便性については、平群駅前に住民サービス用の出張所を設け、平群駅からシャトルバスを運行することで不便をかけず、高齢者にとってはより便利になり、総合グラウンドでのイベントや日々の企画等による利用率の向上にもつながれば、町全体の活性化にもつながらずと考えたのですが、残念ながら検討する考えもないとの事でした。

その後、27年6月の全員協議会において地権者整理の進捗や利活用のプランを含めた説明を受けました。

資料では、町の考え方として『平群西小学校地域が持つ歴史・文化・環境・産業などの「地域の魅力」を最大限活用した施設として再活用するため鋭意努力いたします』と記されています。

しかし、町単独費、486万円を費やした旧平群西小学校跡地利用計画策定業務及び、その後の状況についての説明は一切ありません。

①説明頂いたプランでの概算改修工事費では1億円程度必要との事でしたが、利用を計画していた各団体との協議、及び新たな利用計画等も含めた進捗状況は？

②文化協会で活動されている方々の中でも、将来に対する不信や不安感とともに、公民館としての利用も検討するべきであるとの意見も耳にしていますがいかがお考えか？

### 答弁

①文化センター建設構想を検討しており、並行して西小整備を進めることは財政的にも非常に困難である。利用を計画している二つの団体（大空の家・シルバー人材センター）には早期に説明する責任は感じている。新たに民間事業者からの問い合わせもあり、選

択肢として検討したい。

②利用者からは、財政難の中、旧平群西小学校を利活用してはとの意見もあるが、大規模な改修が必要であり、町の方針とは異なり、利活用は困難である。

### 山田ひときの指摘

公民館は必ずしも駅前に必要な、旧平群西小学校を利活用してはとの意見もあるが、大規模な改修が必要であり、町の方針とは異なり、利活用は困難である。

### (仮称)文化センター建設と まちづくりについて



27年12月議会で『文化センター構想に伴う平群町の人権交流センター及び人権施策と人権教育の考え方について』質問をしました。

この中で、人権交流センターは、いっぱいある似たような施設のひとつという町長の認識であり、文化センター建設に伴う補助金確保の為に統合という条件による捨石が人権交流センターであることが解りました。

12月議会では、固定資産税の超過税率が減収になると、文化センターの建設ができなくなるなどの主張のもと、超過税率の継続を推し進められ、文化センター建設が総ての住民の願いであり、住民負担はやむを得ないという考えの様な内容でした。

しかし本当に、住民にとって

要なの？利用計画案として町が提示した二つの団体については説明だけでなく、代替案についても責任を持って対応するべきである。行き当たりばったりの様に感じる。文化センターも含めもっとトータル的な活用計画が求められる。

業の終了と組合解散の為、保留地処分について限度額5億円の債務保証（損失補填）をしなければなりません。しかし、何故文化センター建設の為、保留地の6千㎡でなく1万㎡もの土地を10億円もかけ購入する必要があるのか？

①平成26年には、マンション誘致に向けた市場調査や土地利活用に向け、民間事業者とのヒアリングも行っている。結果、近鉄奈良線の支線沿線ではマンション供給実績がなく平群町は大手デベが進出しづらいエリアである。平群町の分譲マンションの市場は大きくなく事業者を見つけるのは厳しいとの結論。

③平群町西土地区画整理事業の成功と、活力あるまちづくりを目指すためには、トータル的に若い世代の定住促進誘導が必要であり、その為に駅前にもマンション誘致を進める事が必要だと思います。

②役場庁舎の移転も含め駅前用地に集約していく事を念頭に、文化センター・図書館の建設に向けた会議の中で、1万㎡で議論してきた経過もあり、その考えを進めたい。

保留地6千㎡については町が一旦、約35万円/坪で購入し、分譲型マンション建設を条件にネット入札により売却する方法はどうでしょうか？

③マンション建設誘致は考えていない。

入札すれば、土地売却による損失が出てくる可能性は大きいと思います。仮に、10万円/坪、安値の25万円/坪で落札されれば、約2千坪で2億円、約3千坪で3億円の損出になります。仮に120戸の世帯の転入が増えれば、土地売却による損出分についても、住民税や固定資産税の増収として10年で約2億円の増収収入も期待できます。

現在の社会情勢の中、デベロッパーの参入は、確かに厳しい部分もあるが、色々な媒体を使い、子育て支援等の充実もしてアピールしていけば参入企業もあるのでは？複合施設も含め民間活力誘導による将来を見据えたまちづくりを今、考えるべきである。

①平成16年6月議会で私は、現状の用途では、土地の金額から試算すると分譲マンション誘致は採算が合わず参入していただけないと指摘し、用途規制の緩和を提案しました。

しかし、文化センター建設となれば町単独費2億円、起債18億円の合計20億円の町負担資金が必要になり、その後は将来に渡って何の増収収入も見込めません。

②保留地約6千㎡が予定の価格約35万円/坪で売却処分出来ず、区画整理組合に損失が出た場合、町は区画整理事業

平群町西土地区画整理事業の成功と将来を見据えたまちづくりの為に、保留地部分への町誘導型マンション誘致

を再考し積極的に進めるべきだと思えますか？

③マンション建設誘致は考えていない。



旧平群西小学校



し、庁舎移転も念頭に

にどの答弁であるが、そんな費用はどこから湧いてくるのだろうか？

### 山田ひときの指摘